

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		4,154,410	3,834,408	2,875,794				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	3,386,855	3,224,408	2,700,647				
	一般財源	767,555	610,000	175,047				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	研修受講者数 （議員）	各種研修受講対象者の出席率の向上によって成果が上がる	人	目標	258	245	250
					実績	290	280	257
					目標達成率（%）	112	114	103
	②	（職員）		人	目標	40	22	40
					実績	42	28	39
目標達成率（%）					105	127	98	

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>町議会・議員は、議会の活性化のために国の動きや、法改正等による新たな議会運営を適時判断しなければならないのでこの事業により専門家による情報分析や情報提供が容易に行なわれる。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	地方議会議員が期待される役割を十分に果たすため、社会情勢や地域の諸課題、住人ニーズの把握に加え地方自治に関連する諸制度に精通するための情報提供等が行なわれた。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	特に実務的研修である広報研修においては、近年全国コンクールに入選する町がでるほどその紙面は充実してきている。また、職員研修においては、事例研修で各町活発な意見交換が行なわれ議会運営実務の習得に貢献している。
実現性の点検	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	議会の活性化、議会の円滑な運営等により、より開かれた議会を目ざし、住民参加型の議会が構築される。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					